

学級活動で活用する ～よりよい学校生活、集団生活の充実～

光市立浅江中学校 藤屋 慎一郎

1 本場面におけるポイント

- コミュニティ・スクールの推進校としての誇りを持ち、「地域の担い手」として、よりよい学校をつくることの大切さに気付くことができる。
- これまでの学校生活を振り返り、それぞれの活動をよりよいものにしようと考えることができる。
- 学校の一員としての自覚を持ち、責任をもって行動できるようにする。

2 授業の実際

1 題材名 よりよい学校にするために

2 ねらい

学級や学校・地域の一員としての自覚を持ち、学校や地域に対する敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。

3 展開

(1) 導入 テレビ放送を視聴し、本時の内容を考える。

※ 山口県知事が浅江中に学校訪問された時のテレビ放送を視聴する。

教師：県知事に浅江中学校のどんなところを見てもらい、どんなことを頑張っていると紹介したいですか。

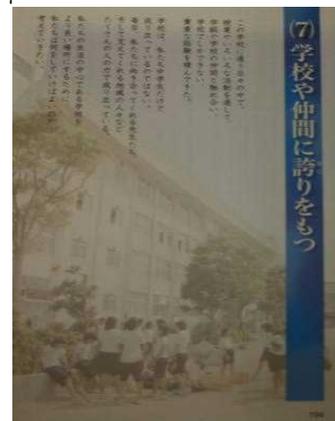
※ 班ごとに話し合いを行い、各班ごとに発表する。

教師：県知事が見られた内容やコメントを紹介する。
また「私たちの道徳 (P194)」を読む。



□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント

「私たちの道徳 (P194)」には、学校をよりよい場所にするために必要なことは何かを考えさせる内容がある。授業の導入で、県知事に本校のどんなところを紹介するかを考えさせることで、更によりよい学校をつくるために必要な視点を見つけさせたい。自分の学級や学校への関心や、よりよい学級や学校づくりへの意欲は、必ずしも十分とはいえない現状を踏まえ、それらに目を向け、自覚と責任をもって行動できるようになると、人間としての成長を促すこともできると考える。



(2) 展開 学校をよりよいものするために必要なことは何だろうか。

『授業』『登下校』『清掃』『部活動』『地域行事』『学校行事』

		
授 業	登下校	清 掃
		
部活動	地域行事	学校行事

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

中学校の多くの活動の中から「授業」「学校行事」「清掃」「部活動」「地域行事」「登下校」について考えさせた。これまでの活動を振り返り、どのようなことを大切にしていけば、さらに充実したものになるかを考えることで、これからの学校生活で頑張る視点を見つけさせたい。学校が自分たちに何をしてくれるのかという考え方ではなく、「自分たちに何ができるのか。」「どのような学校を自分たちでつくっていききたいのか。」を意識させたい。

(3) 終末 よりよい学校をつくるために、どのように行動していくか。

生徒のワークシートの記述より

- ・先輩が行ってきた「地域の担い手」としての活動を、1年生でも継続・発展させる。
- ・学校行事で与えられた仕事に責任をもって果たす。また、学校行事の後こそ、当たり前前のことを当たり前前に実践する。
- ・無言清掃の徹底。掃除用具庫の整理整頓を心がける。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

これまでの学校の教育活動と自分自身の学校生活を振り返り、日々の小さな取り組みがよりよい学校生活をつくることにつながることを学ばせたい。また再度「私たちの道徳」P194にある内容を読み、これからの自分の在り方を考えさせたい。

3 実践を振り返って

「私たちの道徳」の内容と自分たちの活動をつなげて学習活動を構想することは、大切なことである。ここでは、学校の一員としての視点から物事を考えさせた。そのために、どのような思いを大切に、どのような行動が必要なのかを考えたり、道徳の時間で活動の価値付けをしたりすることで、活動の価値を高めていきたい。これからの生活の中でも、学校の一員として、また本校のキャッチフレーズでもある「地域の担い手」として学校、地域に貢献することの大切さを感じることもつながると考える。